



発行日：令和8年9月1日

発行：進路指導係

夏休みが終わり、いよいよ2学期がスタートしました。2学期は、校内実習や就業体験など、卒業後の生活や進路について具体的に考える大切な機会があります。一人一人が自分の得意なことや課題に気づき、将来の生活につなげられるよう取り組んでいきます。

① 高等部「後期就業体験」の実施について

期間：9月28日(月)～10月9日(金)



高等部では、9月28日から10月9日までの期間に**後期就業体験**を実施します。就業体験は、実際の企業や福祉事業所等で活動することを通して、働くことや卒業後の生活について考える大切な学習です。生徒一人一人の進路希望や実態に応じて実習先を設定し、実際の仕事や生活、職場での過ごし方などを体験します。実習では、「できたこと」だけでなく、**どのような支援や環境があれば力を発揮できるのか**を確認することも大切にしています。実習後には本人・保護者・学校・実習先で振り返りを行い、今後の進路選択につなげていきます。

※実習先や実習日数、時間等は生徒によって異なりますので、9月2週目までにお知らせします。

② 中・高等部「校内実習」の実施について

期間：9月9日(水)～9月17日(木) ※最終日は、実習報告会と販売会を行います。



中学部・高等部では、9月9日から17日まで**校内実習**を実施します。校内実習では、普段の授業とは異なる「仕事をする場」を意識しながら、一定時間活動が続けることや、報告・連絡、あいさつ、身だしなみ、役割を最後までやり遂げることなどを学びます。生徒によって卒業後の進路はさまざまですが、働くことだけではなく、**自分の役割を持つこと、人と協力すること、自分から活動に取り組むこと**は、卒業後の生活にもつながる大切な力です。それぞれの生徒が自分なりの目標を持ち、「できた」「もう少し頑張りたい」と感じられる実習になることを期待しています。

③ 事業所紹介



今回は、本校生徒の卒業後の進路先として、お世話になっている**多機能型事業所「いしなぐ」と**今後の実習先として検討している**生活介護事業所「クローバーラビット」**の2施設をご紹介します。それぞれの事業所の活動内容や支援体制、車椅子利用者や医療的ケアが必要な方への対応などについて、特色をご紹介します。

多機能型事業所「いしなぐ」

名護市にある「いしなぐ」は、生活介護と就労継続支援 B 型を行っている多機能型事業所です。屋外での作業だけでなく、室内で取り組むことのできる作業もあり、車椅子を利用している方も参加できる活動について相談することができます。また、卒業後の利用を考える上で重要となる、送迎や車椅子への対応、医療的ケアについても、車椅子で利用できる送迎車両があり、車椅子利用者の通所にも対応しています。一方、看護師が常時配置されている事業所ではありませんが、医療的ケアについては、これまでに訪問看護を利用し、決められた時間に看護師が来所して注入等に対応した実績があるとのことでした。そのため、医療的ケアが必要な場合には、ケアの内容や時間、頻度などについて事前に十分な調整が必要になります。



生活介護事業所「クローバーラビット」

「クローバーラビット」は、うるま市石川にある生活介護事業所です。事業所では、決められた活動に全員が一律に参加するのではなく、一人一人の興味や得意なこと、身体の状態などを踏まえながら、本人が活動を選択することを大切にしています。室内での細かな作業や身体を動かす活動、外出や散歩など、さまざまな経験につながる活動が行われています。医療的ケアへの対応については、看護師が 2 名配置されており、医療的ケアが必要な方への支援もできます。医療的ケアを必要とする本校生徒にとっても、卒業後の生活介護事業所を検討する際の大切な選択肢の一つです。また、車椅子を利用する生徒についても、活動への参加方法や日中の姿勢、休憩の取り方などを本人の状態に合わせて相談していくことができます。

2 学期は、校内実習や就業体験を通して、生徒たちが卒業後の生活について具体的に考える機会が多くなります。学校でも、生徒本人の希望や得意なこと、必要な支援を大切にしながら、保護者や関係機関と連携して進路支援を進めていきます。



【進路関係資料】

①R8 進路指導の手引き(桜野特別支援学校)



②進路指導に関するお問い合わせ先



③R7 沖特進研報告書

(沖縄県の特別支援学校進路実績)



④障害福祉サービス事業所検索

(WAM NET)

